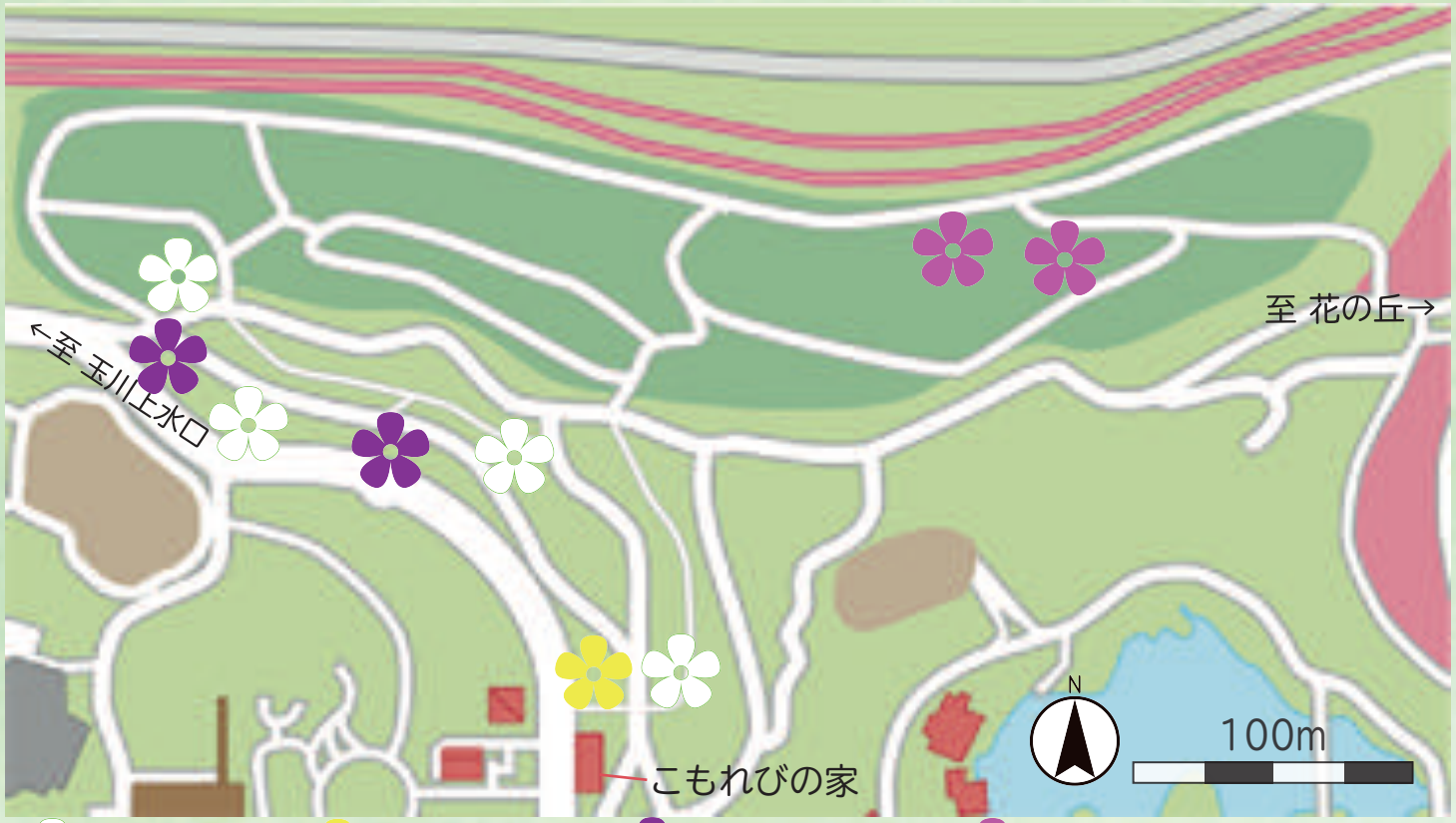
スプリング・エフェメラルマップ



… ニリンソウ　… アズマイチゲ　… ムラサキケマン　… カタクリ

植物以外のスプリング・エフェメラル

春植物以外にもスプリング・エフェメラルは存在します。春の短い期間だけ、成虫の姿が見られるいくつかの昆虫の種もスプリング・エフェメラルと呼ばれています。

ウスバシロチョウ
幼虫はムラサキケマンを食べる

ビロウドツリアブ
いろいろな花で蜜を吸う

公園のきまり

・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。

・立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。

春の森の妖精
スプリング・エフェメラル

木の葉がまだ伸びていない春先に、
森の地面で花を咲かせる春植物は
スプリング・エフェメラル
（春のはかない命）と呼ばれます。
はかない命の輝きを見つけに
森を歩いてみませんか。

公園のスプリング・エフェメラルたち

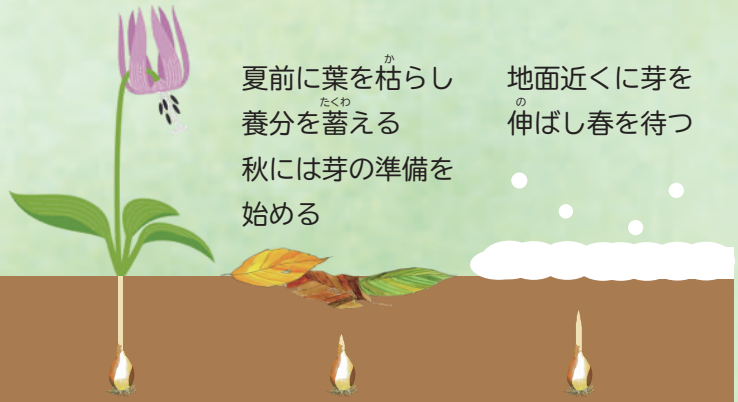
光を得るための作戦

「スプリング・エフェメラル」と呼ばれる春植物の多くは、雑木林などの落葉広葉樹の森に生育しています。落葉広葉樹は、春に芽を出して葉を開き、秋冬には葉を落とす樹木です。春植物たちは森の木々や他の草が葉を茂らせると、花を咲かせたり、実を結ぶために必要な光を十分に得られません。そのため、木々が葉を開く前の春の早いうちに花を咲かせて実をつくる作戦をとっています。実を結ぶのに必要になる他の花の花粉は、動き出したばかりの昆虫たちに運んでもらいます。

一年のすごし方

春植物は、花や実の時期だけ地上に姿を現し、一年のほとんどを地下ですごしています。

春 ⇨ 夏・秋 ⇨ 冬



ニリンソウ　キンポウゲ科

花には蜜がなく、花粉をめあてにハナアブ類やコウチュウ類が訪れます。４～５月に、昆虫のとまりやすい上向きの花をつけます。

アズマイチゲ　キンポウゲ科

３～５月に、無毛の茎の上に大きな白い花を一輪つけます。花弁のように見えるのは、花を守る萼片です。葉は少し垂れてつきます。

ムラサキケマン　ケシ科

木陰の少し湿った場所に生育する有毒植物です。４～６月に多数の花をつけます。種皮にはアリが食べる付属物があり、アリを利用して種子を散布します。

カタクリ　ユリ科

花は４～６月に７～８日間咲き、昆虫に花粉を運んでもらって受粉します。種皮にはアリが食べる付属物があり、アリを利用して種子を散布します。

出典：柴田規夫『植物なんでも事典　ぜんぶわかる！　植物の形態・分類・生理・生態・環境・文化』文一総合出版、2019年
監修 伊丹市昆虫館　編著 槻真史『ポケット図鑑 日本の昆虫1400 ①チョウ・バッタ・セミ②トンボ・コウチュウ・ハチ』文一総合出版、2013年、奥山多恵子『春の妖精たち スプリング・エフェメラル』福音館書店、2005年
多田多恵子 「里山の雑木林に生きる草花ー生活史戦略と繁殖特性ー」『森林科学』2004年、42、p38-45、田中肇　写真 田中肇、平野隆久『POINT図鑑 花の顔 実を結ぶための知恵』山と渓谷社、2000年